

平成31年2月8日  
日本大学三軒茶屋キャンパス

平成31年度日本大学危機管理学部一般入学試験A方式において  
「世界史」及び「政治・経済」を受験した皆様へ

本年2月4日に実施いたしましたA方式入学試験の「政治・経済」の問題に誤りがありましたので、下記のとおりお知らせいたします。受験生の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

#### 記

#### 【世界史】

問題文 28ページ

II

18

本問は、選択肢①と選択肢③のいずれも正解とします。

#### <理由>

本問は、4つの選択肢の中から最も適切な選択肢を一つ選択する問題です。設問の「略地図上Fの地域に関連する説明」として、文部科学省検定済教科書に準拠すると、正解は選択肢①となります。しかし、選択肢③の「人文主義者エラスムスが社会を風刺する作品を著した。」についても、エラスムスはイギリス、すなわち「地図上Fの地域」の滞在中に著作『愚神礼讃』を執筆していたことにより、選択肢③も正答となり得るため、本問は選択肢③も正解とします。

#### 【政治・経済】

問題文 7ページ

II 問10

20

本問は、選択肢③と選択肢④のいずれも正解とします。

#### <理由>

本問は、4つの選択肢の中から最も適切な選択肢を一つ選択する問題です。選択肢③の「条約は、交渉による合意が成立して署名（調印）されたときに、当事国間に効力が発生する。」は、署名の後、国内での承認手続きを踏み、批准された後に、条約としての効力が発生するという趣旨で誤文としていました。これは、文部科学省検定済教科書に準拠し、かつ日本国憲法において、条約は内閣が締結し、その事前または事後に国会の承認を経ることが必要であると定められていることによるものです。しかし、実際には、条約の中に署名のみで

効力が発生する政府間取極め(行政協定と通常言われるもの)もあることから、本問は選択肢③も正解とします。

問題文 11ページ

IV 問2

36

本問は、「政治・経済」の受験生全員に得点を与えます。

<理由>

本問は、4つの選択肢の中から最も適切な選択肢を一つ選択する問題であり、文部科学省検定済教科書に準拠し、市場の機能不全が起こる市場の失敗が起こりづらいものについて問う趣旨で選択肢②「新聞」を正解としていました。しかし、下線部（ア）に関連する問題であることから、一部の受験生が選択肢②を公共財や公共サービスにあたらないと判断し、除外して解答した可能性が生じたので、設問として不適切と判断いたしました。よって、本問については「政治・経済」の受験生全員に得点を与えます。

以 上